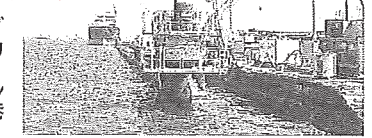


所作業時にお名ストレスチェック」の実施とそれに基づく職場環境改善の取り組みの普及・促進に努める。

また、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム（ニューコスモス）」と「コンパクトコスモス」の導入についても積極的に働き掛けていく。

健康KYと無記

2020年3月17日 建通新聞



技研製作所（高知市）グループ会社である技研施工（高知市）は、国土交通大臣表彰の「第3回JAPANコンストラクション国際賞（中堅・初）」を受賞した。海外での質の高いインフラ整備で先導的に活躍する日本国内の中堅・中小建設関連企業

技研施工が受賞

を表彰しており、四国地方では初めての受賞となった。

評価ポイントは、パイ

大平厚社長は「1998年に初めて海外で圧入工事を成功させた。以降、工法普及のために各国の現場で圧入原理の優位性を実践、実証してきた」と振り返り「グローバルエンジニアリング企業として世界のインフラ整備に貢献したい」と抱負を述べた。

組みの動機や作品コンセプト、詳細についてプレゼンテーションを行った。

審査委員を菅澤電一氏（建築家、滋賀県立大学教授）、JIA四国支部の武智和臣氏、東哲也氏が務め、審査の結果、井上善人さん（高知工科大学システム工学群）の「今と昔の線路を歩く」が金賞に選ばれた。

銀賞は大和敦子さん（高知工科大学システム工学群）の「集落に生きる」、銅賞は藤田綾さん（高知工科大学システム工学群）だった。

なお、金賞の井上さんの作品は、JIA全国大会に出展される。

全国50都市で開催

四国地区は、高松（レクザムホール）、松山（松山総合コミュニケーションセンター）、徳島（徳島県郷土文化会館）、高知（高知県教育会館）の4会場を設けており、定員になり次第締め切りとなる。なお同講座は厚生労働省の指定講座として公的助成金の対象講座になっている。

問い合わせ・申込先は、建設管理センター フリーダイヤル（0120）145353。

四国建築学生卒業設計展2020開く

JIA四国など



日本建築家協会（JIA）四国支部と四国建築

前列左から2人が金賞、受賞した井上善人さん

学生の会の共催、総合資格学院の特別協賛による「四国建築学生卒業設計展2020」が、6日から8日まで高知市文化プラザかるぼーとで開催された。期間中、

開で開かれた。卒業設計展には高知工科大学、河原・デザインアート専門学校・高知工業高等学校の卒業生による19作品の模型や説明パネルを展示。7日は同作

品を対象に「JIA四国支部 学生卒業設計コンクール2020」が行われた。

コンクールでは1次審査を通過した6人がプロジェクトを使って取り

民間 人事

世紀東急工業（4月1日） 四国支店長兼営業部長兼事務管理部長兼工事部長（中四国支店長兼営業部長） 豊田公之

建設技術研究所（4月1日） 理事、大阪本社次長（大阪本社次長） 石田裕哉

同、東京本社次長（東京本社次長） 森藤敏一（管理本部副本部長兼管理本部総務部長（中部支社総務部長兼事務部長）

テム部長兼水システム部水質試験室長（東京本社河川部長兼河川部水質試験室長） 永矢貴之（東京本社機電設備室長（東京本社ダム部機電設備室長） 松友秀治

▽東京本社構造部長（大阪本社構造部長） 小倉司

▽東京本社都市部長（九州支社道路・交通部長） 桂謙吾

▽東北支社道路・交通部長（東京本社交通システム部次長） 大井孝通

の回数推移を知ることができるようになっていきます。世界中で行われた「AI」の検索回数を調べてみると、16年8月頃からピークであつて、いまは急激に減少傾向にあると見られています。

AIを使いこなさないと必死で動いていきます。その一方、AIに関する「日本は負け組」になりつつあると、16年8月頃からピークであつて、いまは急激に減少傾向にあると見られています。

けに世界中がAIに走り始めました。

AIは約70年前に提唱された概念です。しかし、コンピュータ性能が爆発的に向上し、いまは世界中がAIに走り始めました。

世界のあらゆる産業や企業は、AIを使いこなさないと必死で動いていきます。その一方、AIに関する「日本は負け組」になりつつあると、16年8月頃からピークであつて、いまは急激に減少傾向にあると見られています。

AIは約70年前に提唱された概念です。しかし、コンピュータ性能が爆発的に向上し、いまは世界中がAIに走り始めました。

AIは約70年前に提唱された概念です。しかし、コンピュータ性能が爆発的に向上し、いまは世界中がAIに走り始めました。